

シュンギク(キク科)



シュンギクは種まきの時期を守れば育てやすい野菜で、春と秋に種まきができます。春まきは害虫がつきやすいので、秋まきをおすすめするわ。種まきが遅くなると成長が遅く、よく育たないこともあるので気をつけましょう。



▼栽培手順



1

プランターに元肥と土を入れて、しっかりしめさせます。種をまく部分に、浅くすじをつけ、種をパラパラと入れていきます。やさしく土をかぶせて、軽くおさえます。あまり深くうめたり、ギュッと土をかためると芽が出にくくなります。最後にきりふきで、水をかけます。



2

芽が出るまでは、乾燥をふせぐために、ぬれた新聞紙で上をおおっておきましょう。激しい雨も防いでくれます。水やりは、芽が出てしっかりするまで、きりふきを使います。新聞紙をめくって、毎日やりましょう。



3

芽がでてきたら、十分日に当てます。虫にやられないように光を通すタイプのカバーをしておきましょう。1日1回、たおれないように低い位置からそっと水やりをして育てます。



4

ほとんど発芽して、ふた葉になったら、元気のない芽やまとまってはえてきた部分を間引きます。間引きしたベビーシュンギクは、かいわれ菜として食べましょう。





5

少しずつ成長してきます。
追肥は、まき肥なら収穫までに1回くらい与えます。
そのとき表面の土を軽くほぐして、株がたおれないように根元に土をよせておきます。
液肥なら10日に一度、水やりの代わりに与えます。



6

2か月ほどで収穫できます。
切り取る時に、根と根元の葉を3枚ほど残します。
わき芽が伸びて成長してきますので、長い間収穫することができます。
春まきは「とう」が立ってきますので、根元から切り取ります。

